

# もり 森林づくり交付金（拡充）

～「地域力」を活かした使いやすい交付金～

## 1 趣 旨

国土保全や水源かん養など森林の多面的機能の持続的な発揮のためには、森林の整備・保全を推進することが重要であり、特に地球温暖化防止対策の観点からは、より積極的な施策の展開が喫緊の課題となっている。

このため、森林の整備・保全のための条件整備や、山村地域の活性化、森林資源の保護等への支援を総合的に実施し、森林の多面的機能の発揮と森林を支える山村の再生を図っていく必要がある。

## 2 拡充内容 ※具体のメニューは別紙のとおり

- ・施業受託者による間伐推進体制の強化
- ・野生鳥獣被害対策を推進する観点から、NPO等による里山等での広葉樹の植栽など森林づくり活動の支援

## 3 計画主体 都道府県

## 4 事業主体 都道府県、市町村、森林組合等

## 5 交付率 定額（1/2、4/10等）

## 6 事業期間 平成17年度～平成21年度（5年間）

## 7 科 目

（項）林業振興費

（目）森林整備・保全推進交付金

森林整備・保全施設整備交付金

## 8 平成18年度概算決定額

3,695,468千円（4,431,000千円）

（林野庁計画課）

交付対象メニュー

<ハード>

(森林整備の推進)

- ・ 森林づくりの推進：施業受託者による作業道、林業機械作業システム等の整備

(森林の多様な利用・緑化の推進)

- ・ 学びのもりの推進：実習林・観察林、学習展示施設等の整備

(森林地域環境の整備)

- ・ むらづくりの推進：都市との交流基盤施設、地域の活動基盤施設等の整備

<ソフト>

(山地防災情報の周知)

- ・ 山地防災情報伝達の総合的な推進：行政と住民との情報伝達体制の整備等

(森林資源の保護)

- ・ 森林資源保護の推進：NPO等による広葉樹の植栽等森林づくり活動の支援、森林病虫害等の被害が発生しにくい森林環境の整備等
- ・ 森林環境保全の推進：林野火災防止意識の啓発、森林保全推進員の養成等

※ソフト・ハードそれぞれについて、上記の政策目標を補完する地域独自の提案についても一定の範囲で実施可能。